

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月8日
【四半期会計期間】	第36期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	元気寿司株式会社
【英訳名】	GENKI SUSHI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 法師人 尚史
【本店の所在の場所】	栃木県宇都宮市大通り二丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	経理部長 斎藤 義範
【最寄りの連絡場所】	栃木県宇都宮市大通り二丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	経理部長 斎藤 義範
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第1四半期連結 累計期間	第36期 第1四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	6,415,263	7,026,089	26,892,876
経常利益 (千円)	198,398	312,512	1,045,358
四半期(当期)純利益 (千円)	194,931	300,588	687,808
四半期包括利益または包括利益 (千円)	208,511	295,221	715,930
純資産額 (千円)	3,722,940	4,454,155	4,229,846
総資産額 (千円)	12,614,992	14,108,417	13,451,458
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	22.08	34.04	77.89
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	29.5	31.6	31.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られております。しかしながら、消費税率引き上げに伴う今後の景気への影響や、燃料費の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費税増税後の消費の減退が懸念されておりましたが、影響は限定的で堅調に推移いたしました。一方、人件費や、原材料価格、エネルギーコストの高騰などの不安定な要素も抱え、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社グループといたしましては、「更なる品質とスピード提供」「溢れる笑顔と情熱」をキーワードに、他社との差別化を図り、より一層の接客サービスの向上に取り組んでまいりました。また(株)神明ホールディングスのグループ商品部の本格稼働による商品仕入機能の集約により、食材等の調達力を向上させ、原価低減にも取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高70億2千6百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益3億3千5百万円（前年同期比85.2%増）、経常利益3億1千2百万円（前年同期比57.5%増）、四半期純利益3億円（前年同期比54.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(国内事業)

国内事業におきましては、既存店の来店客数増加を維持し、客単価アップを図るとともに、店舗収益力を強化するため、各種営業政策を実施してまいりました。

店舗展開につきましては、引き続き「魚べい」に経営資源を集中させ、また回転レーンをなくし、全てタッチパネルで注文をいただくフルオーダー型店舗を展開いたしました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新設店3店舗を出店し、不採算店等2店舗を退店したことにより、総店舗数は137店舗となりました。また、改装等につきましては2店舗を実施いたしました。

この結果、国内事業の業績は、売上高58億2千万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益1億3千8百万円（前年同期比76.3%増）となりました。

(海外事業)

海外事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図るため、派遣指導等を充実するとともに季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、フランチャイズ先において香港に1店舗、中国に5店舗を出店したことにより、総店舗数は117店舗となりました。

この結果、海外事業の業績は、売上高12億5百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益2億9百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月8日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	8,882,908	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	8,882,908	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備 金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	8,882	-	1,151,528	-	1,344,671

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 52,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,813,100	88,131	-
単元未満株式	普通株式 16,908	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,882,908	-	-
総株主の議決権	-	88,131	-

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
元気寿司株式会社	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	52,900	-	52,900	0.60
計	-	52,900	-	52,900	0.60

(注) 当第1四半期会計期間末の自己株式数は、53,128株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第35期連結会計年度	桜橋監査法人
第36期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間	太陽A S G有限責任監査法人

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,682,409	4,026,222
売掛金	231,515	273,594
商品及び製品	251,545	238,983
原材料及び貯蔵品	60,108	90,006
その他	676,427	670,718
貸倒引当金	2,979	3,610
流動資産合計	4,899,026	5,295,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,617,666	5,974,575
土地	728,824	728,824
リース資産	3,142,890	3,213,689
その他	1,103,281	968,566
減価償却累計額	5,558,866	5,648,464
有形固定資産合計	5,033,796	5,237,190
無形固定資産	234,244	228,801
投資その他の資産		
差入保証金	2,337,112	2,322,772
その他	951,447	1,027,881
貸倒引当金	4,168	4,144
投資その他の資産合計	3,284,390	3,346,510
固定資産合計	8,552,432	8,812,502
資産合計	13,451,458	14,108,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,031,968	912,857
短期借入金	1,193,272	1,304,628
未払法人税等	92,000	36,000
賞与引当金	215,000	85,000
資産除去債務	9,000	19,000
その他	1,902,671	2,016,735
流動負債合計	4,443,911	4,374,220
固定負債		
長期借入金	1,955,484	2,496,317
リース債務	1,921,625	1,945,301
資産除去債務	403,438	409,205
その他	497,152	429,216
固定負債合計	4,777,700	5,280,041
負債合計	9,221,612	9,654,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	1,905,265	2,135,214
自己株式	71,121	71,393
株主資本合計	4,330,343	4,560,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,759	4,949
為替換算調整勘定	105,257	110,814
その他の包括利益累計額合計	100,497	105,865
純資産合計	4,229,846	4,454,155
負債純資産合計	13,451,458	14,108,417

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,415,263	7,026,089
売上原価	2,615,423	2,859,789
売上総利益	3,799,839	4,166,300
販売費及び一般管理費	3,618,386	3,830,322
営業利益	181,453	335,978
営業外収益		
受取利息及び配当金	204	344
為替差益	28,358	-
受取賃貸料	14,232	15,847
その他	10,602	10,366
営業外収益合計	53,398	26,558
営業外費用		
支払利息	26,027	29,141
為替差損	-	11,037
賃貸費用	10,085	9,745
その他	340	99
営業外費用合計	36,453	50,023
経常利益	198,398	312,512
特別利益		
特別利益合計	-	-
特別損失		
固定資産除却損	2,636	2,972
減損損失	1,673	2,254
賃貸借契約解約損	8,149	1,820
特別損失合計	12,459	7,047
税金等調整前四半期純利益	185,938	305,465
法人税、住民税及び事業税	26,605	34,124
法人税等調整額	35,598	29,247
法人税等合計	8,992	4,876
少数株主損益調整前四半期純利益	194,931	300,588
四半期純利益	194,931	300,588

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	194,931	300,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381	189
為替換算調整勘定	13,198	5,557
その他の包括利益合計	13,580	5,367
四半期包括利益	208,511	295,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,511	295,221
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
減価償却費	195,996千円	241,256千円
のれんの償却額	-	-

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	52,981	6.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月20日 定時株主総会	普通株式	70,639	8.0	平成26年3月31日	平成26年6月23日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,372,484	1,042,778	6,415,263	-	6,415,263
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	-	-	-	-
計	5,372,484	1,042,778	6,415,263	-	6,415,263
セグメント利益	78,360	153,688	232,048	50,595	181,453

(注)1. セグメント利益の調整額 50,595千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,820,895	1,205,194	7,026,089	-	7,026,089
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	-	-	-	-
計	5,820,895	1,205,194	7,026,089	-	7,026,089
セグメント利益	138,111	209,250	347,361	11,383	335,978

(注)1. セグメント利益の調整額 11,383千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	22円08銭	34円04銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	194,931	300,588
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	194,931	300,588
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,830	8,829

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年7月30日開催の取締役会においてMother Spice Food Corporationとフィリピンにおける寿司レストランのフランチャイズ契約を締結することを決議いたしました。

相手方の名称	Mother Spice Food Corporation
国名	フィリピン
契約の内容	フィリピンにおける寿司レストラン展開のための商標使用の許諾、経営指導及びノウハウの提供
契約期間	平成26年8月6日から平成36年8月5日まで
対価	ロイヤリティとして総売上高の一定率

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月 6日

元気寿司株式会社

取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	泉 淳一 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	岡本 伸吾 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大兼 宏章 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている元気寿司株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、元気寿司株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成26年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成25年8月9日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成26年6月20日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。